

か？

大沼 学校のカリキュラムの中には自転車の乗り方の指導は入っていませんが、本校では課外授業として、日一時間くらいあてています。その他PTAの校外補導委員会でもとりあげてくれてはいるはずですが。

奥井 安全については先生方もぜひ分こまかく気をつけて下さっているようですし、校内でのとりきめはあるようなのですが、休みの日など、特に子供たちは自転車に乗りたがる。それならば、どこで乗れば安全かときかれると、親の方で困ってしまうんです。

大沼 安全な乗り物がほしいですね。つくづくそう思います。

奥井 我々、土浦の自然を守る会では桜川の自然公園化サイクリング道路建設などの問題を市民の皆さんに呼びかけて来たのですが：御存知ですか？

大沼 知りませんでした。教育というものは目先だけのことでいいけない。やはり児童をとりまく環境整備も大切なことだと思います。安全な道路づくりは、教育界、PTA一たいになって声を大にしてやっていかなくてはならない問題だと思います。

小松崎幹男さん（自転車店主）

奥井 元PTA会長さんとして、業者の立場として、子供と自転車の問題をどうとらえますか？

小松崎 一番大切なことは、何といっても安心して自転車の乗れる道路がほしいということです。歩道を自転車道にする約束にはなっているのですが、表示がないから知らない人は歩道に入っているのじゃないかと思ってしまうのです。六号国道は段差をなくしたはずですが、木田余街道もしてくることになっているのですがネ。

奥井 事故につながるものは何ですか？

小松崎 何といってもブレーキ。次に夜間の無灯火ですね。テールランプの故しようも危険です。

奥井 ギア1付の高度なものもある様ですが：

小松崎 ギア1段付。別に危険はないのですが、高価なものだから、子供に教育上よくないといわれています。ドロップハンドルのものは、どうしても視線が下になってしまふので子供はさけた方がいいですね。

奥井 単純な構造の器械は単純なまま乗った方が人間らしい乗り方みたいな気がしますね。

田崎文雄さん（土浦市建設部土木課長）

奥井 土浦市では、自転車専用道路の計画はありますか？

田崎 道路の員幅がせまい所がほとんどです。とても考